

# JIS

## 住宅用プラスチック系防湿フィルム

JIS A 6930 : 1997

(2003 確認)

平成20年 3月20日付け追補 あり

平成9年12月20日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。

---

主 務 大 臣：通商産業大臣            制定：平成 9.12.20

官 報 公 示：平成 9.12.22

原案作成協力者：日本ポリオレフィンフィルム工業組合

審 議 部 会：日本工業標準調査会 建築部会（部会長 菅原 進一）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## 住宅用プラスチック系防湿フィルム A 6930 : 1997

## Plastic films vapour barrier for residential use

1. 適用範囲 この規格は、主として住宅を断熱構造とする場合において、断熱構造部の防露のために、別に防湿層を構成する際に使用するプラスチック系フィルムについて規定する。

備考 この規格の中で{ }を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって、参考として併記したものである。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。

JIS A 1324 : 1995 建築材料の透湿性測定方法

JIS A 6111 : 1996 透湿防水シート

JIS A 9521 : 1994 住宅用人工鉱物繊維断熱材

JIS K 6783 : 1994 農業用エチレン・酢酸ビニル樹脂フィルム

JIS K 7129 : 1992 プラスチックフィルム及びシートの水蒸気透過度試験方法(機器測定法)

JIS K 7212 : 1995 熱可塑性プラスチックの熱老化性試験方法(オープン法)通則

JIS K 8575 : 1994 水酸化カルシウム(試薬)

JIS Z 0208 : 1976 防湿包装材料の透湿度試験方法(カップ法)

JIS Z 8401 : 1961 数値の丸め方

JIS Z 8703 : 1983 試験場所の標準状態

JIS Z 9001 : 1980 抜取検査通則

3. 種類 フィルムの種類は、次による。

3.1 材料の構成による区分 材料の構成による区分は、表1のとおりとする。

表1 材料の構成による区分

区分	材料の構成
単体フィルム	ポリエチレンフィルムのような、単一のプラスチック材料により構成されるフィルム。
複合フィルム	単体フィルムに、性質の異なる他の単体フィルム及び/又はフィルムと形状の異なる他のプラスチック材料 <sup>(1)</sup> を複合したフィルム。構成層の一部に金属などの蒸着層を持つフィルムを含む。

注<sup>(1)</sup> ポリエチレン製延伸テープを用いた編織物、ポリエチレン製割繊維不織布等がある。

3.2 透湿性(透湿抵抗)による区分 透湿性(透湿抵抗)による区分は、次による(表2参照)。

a) A種

b) B種

4. 品質 フィルムの品質は、表2のとおりとする。